

問1 次の税金のうち、すべて「間接税」に分類される組み合わせとして正しいものはどれか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 消費税・酒税・入湯税      2. 所得税・法人税・住民税      3. 固定資産税・相続税・消費税      4. 印紙税・自動車税・所得税

問2 日本の社会保障制度は大きく4つの柱から成り立っています。その中で、人々があらかじめ保険料を出し合い、病気や失業、老齢などの困難に直面した際に給付を受ける仕組みを何といいますか。（2021年 島根公立入試 類似）

1. 社会保険      2. 公的扶助      3. 社会福祉      4. 公衆衛生

問3 政府と中央銀行（日本銀行）が経済を安定させるために行う施策のうち、政府が景気調整のために行う「財政政策」の具体的な手段として正しい組み合わせはどれですか。（2023年 長崎公立入試 類似）

1. 増税と公共事業の削減      2. 減税と公共事業の拡大      3. 増税と公共事業の拡大      4. 減税と公共事業の削減

問4 日本の国家予算（一般会計）において、歳入の約34パーセントが所得税や消費税などの租税ではなく、国が市場から借り入れた資金によって賄われている状況を想定します。このように、財源不足を補うために発行された国債によって得られる収入を何と呼びますか。（2019年 香川公立入試 類似）

1. 公債金      2. 地方交付税交付金      3. 国庫支出金      4. 法人税

問5 2020年度の日本の歳入内訳において、消費税は21.2%を占める最大の項目となっています。このように、商品の購入やサービスの提供に対して課され、税金を納める義務がある「納税者」と、実際にその税を負担する「担税者」が異なる税金の分類を何と呼びますか。（2022年 島根公立入試 類似）

1. 直接税      2. 間接税      3. 法人税      4. 累進課税

問6 現代の民主主義社会において、税金の徴収方式は「直接税」と「間接税」に大別されます。このうち間接税の仕組みを説明したものと、最も適切な記述を選びなさい。（2018年 大阪公立入試 類似）

1. 税金を実際に負担する人と国に納める人が異なるため、納税の痛税感が和らぎ、税収が安定しやすい仕組み  
2. 税金を負担する人と納める人が一致するため、納税者の所得額に応じて税率を変化させやすい仕組み  
3. 税金を負担する人と納める人が異なるため、所得が多い人ほど高い税率を適用し、格差を是正する仕組み  
4. 税金を負担する人と納める人が一致するため、国民が政治に参加しているという意識を持ちやすい仕組み

問7 社会保険にはさまざまな種類がありますが、高齢になって所得がなくなった際に生活を支えるための仕組みとして、適切なものはどれですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. 国民年金      2. 生活保護      3. 雇用保険      4. 公衆衛生

問8 2014年度の一般会計予算の歳出内訳を示した統計において、総額の31.8パーセントと最大の割合を占めている項目は何か。年金、医療、介護、生活保護などの社会保障制度の維持・運営のために支出される費用の名称として正しいものを選びなさい。（2017年 山口公立入試 類似）

1. 社会保障関係費      2. 国債費      3. 公共事業関係費      4. 地方交付税交付金等

問9 社会保障の四つの柱について、それぞれの活動内容を説明した文として、公衆衛生の役割に該当するものはどれですか。具体的な活動の性質に注目して選択してください。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. あらかじめ保険料を出し合い、病気や失業、老齢などのリスクに備える仕組み。  
2. 生活に困窮する人々に対し、国が最低限度の生活を保障し、自立を助ける仕組み。  
3. 児童、高齢者、障がい者など、社会的な支援を必要とする人々へサービスを提供する仕組み。  
4. 病気の予防や生活環境の改善を通じて、国民全体の健康水準を向上させる仕組み。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 消費税・酒税・入湯税	酒税や入湯税は、商品の価格やサービスの利用料金の中に税金が含まれており、利用者が負担した税を施設や事業者が納めるため、間接税に分類される。所得税や法人税、固定資産税などは、税を負担する本人が直接納める「直接税」であるため、区別が必要である。
問2	<b>答え 1</b> 社会保険	日本の社会保障制度には4つの柱（社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生）があります。社会保険は、国民が保険料を出し合って生活の不安に備える相互扶助の仕組みであり、医療、年金、雇用、介護、労災の5種類に分かれています。これに対し、生活に困窮した人に対して税金を財源に最低限度の生活を保障するものは「公的扶助」と呼ばれ、社会保険とは財源や対象が異なります。
問3	<b>答え 1</b> 増税と公共事業の削減	政府は景気が過熱しているときには、増税によって民間の資金を吸い上げ、公共事業を減らすことで政府自身の支出も抑えます。反対に、不況のときには減税や公共事業の拡大によって景気を刺激します。設問の「好況時の景気調整」という目的に合致するのは、市場の資金量を抑える「増税」と「公共事業の削減」の組み合わせです。
問4	<b>答え 1</b> 公債金	年度ごとの国の収入である歳入において、税金などで足りない分を補うために国債を発行して得る借入金をことを公債金といいます。現代の日本財政では歳入の大きな割合を占めており、将来世代への負担増が課題となっています。
問5	<b>答え 2</b> 間接税	税を納める人と負担する人が分かれている仕組みを「間接税」と呼びます。消費税はその代表例であり、他には酒税やたばこ税などが含まれます。日本の歳入において、直接税である所得税や法人税と並び、この間接税である消費税は極めて重要な財源として位置づけられています。
問6	<b>答え 1</b> 税金を実際に負担する人と国に納める人が異なるため、納税の痛税感が和らぎ、 税収が安定しやすい仕組み	間接税は「負担する人」と「納める人」が異なるため、消費者が買い物のたびに納税を強く意識（痛税感）することなく徴収される特徴があります。また、所得に関わらず消費に対して課されるため、景気の変動に左右されにくく、税収が安定するという性質も持っています。格差是正の役割は主に直接税（累進課税）が担っています。
問7	<b>答え 1</b> 国民年金	日本の年金制度（国民年金や厚生年金）は、社会保険の一つです。現役時代に保険料を納めることで、老後の生活資金を受け取ることができます。一方、生活保護は税金を財源とする公的扶助、雇用保険は失業時に備える社会保険、公衆衛生は感染症対策などの行政サービスを指します。
問8	<b>答え 1</b> 社会保障関係費	日本の一般会計予算の歳出において、最も大きな割合を占めているのが社会保障関係費です。この費用は、国民の生活の安定を守るための年金、医療、介護、生活保護、少子化対策などに充てられます。少子高齢化の進行により、これらの費用は年々増加傾向にあり、現代の日本財政において最も大きな支出項目となっています。なお、二番目に大きな割合を占めるのは借金の返済にあたる国債費です。
問9	<b>答え 4</b> 病気の予防や生活環境の改善を通じて、 国民全体の健康水準を向上させる仕組み。	公衆衛生は、他の三つの柱とは異なり、主に「予防」や「環境整備」に重点を置いています。選択肢のうち、保険料を財源とするものは社会保険、生活保護に代表される困窮者支援は公的扶助、福祉施設でのサービス提供などは社会福祉に該当します。感染症の拡大を防ぐための検疫や予防接種、上下水道の整備などは、すべて公衆衛生の活動に含まれます。